

国内初のPCB廃棄物現地無害化処理を実施 「鶴見川多目的遊水地土壌無害化処理事業：ジオスチーム法」

工事概要

横浜市港北区の新横浜駅から約500mの場所で、鶴見川多目的遊水地工事において発見・保管されていたPCB等の有害物質濃度が比較的高いPCB廃棄物（一時保管土A）を、鶴見川多目的遊水地内に新たに設置したPCB廃棄物中間処理施設で、国土交通省の「自ら処理」として無害化処理を行ないました。処理完了後はそれらの設備を撤去し原状回復しました。

PCB廃棄物の無害化処理は、1,100℃以上での高温焼却あるいは国による廃棄物処理法に基づくPCB処理技術の技術評価を受けた化学分解法で行う必要があります。

本工事では、株式会社鴻池組が株式会社東芝および株式会社テルムと共同開発し、PCB処理技術評価を取得済みのジオスチーム™法（還元熱化学分解法）を用いて行いました。

1. 工事件名 鶴見川遊水地土壌改良工事
2. 工事場所 横浜市港北区小机町及び鳥山町地先
3. 工期 平成 21年 2月28日～平成 25年10月31日
 環境影響評価 平成21年 3月 ～ 平成25年 6月
 施設の設計・建設 平成21年 3月 ～ 平成24年 2月
 処理の実施 平成24年 3月 ～ 平成25年 6月
 施設の解体・撤去 平成25年 6月 ～ 平成25年10月
4. 請負金額 ￥2,574,600,000-（税込）
5. 発注者 国土交通省関東地方整備局 京浜河川事務所
6. 工事的目的 廃棄物処理施設の建設及びPCB産業廃棄物の現地処理
7. 処理対象物 PCB特別管理産業廃棄物 5,828m³ / 9,248t
 PCB濃度 処理前 最大30 mg/kg 処理後 ≤0.1mg/kg



写真-1 鶴見川多目的遊水地及び対象事業実施区域



写真-2 施設の全景



写真-3 処理装置全景

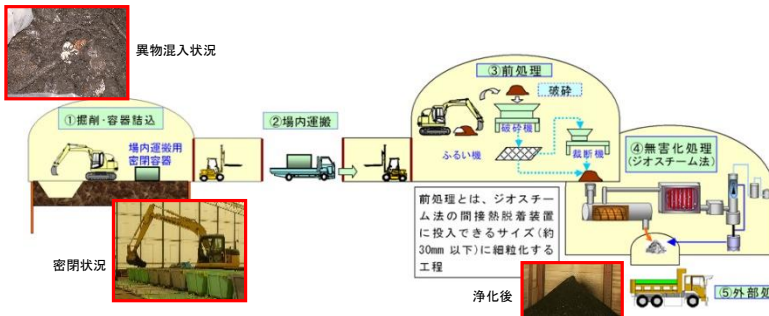
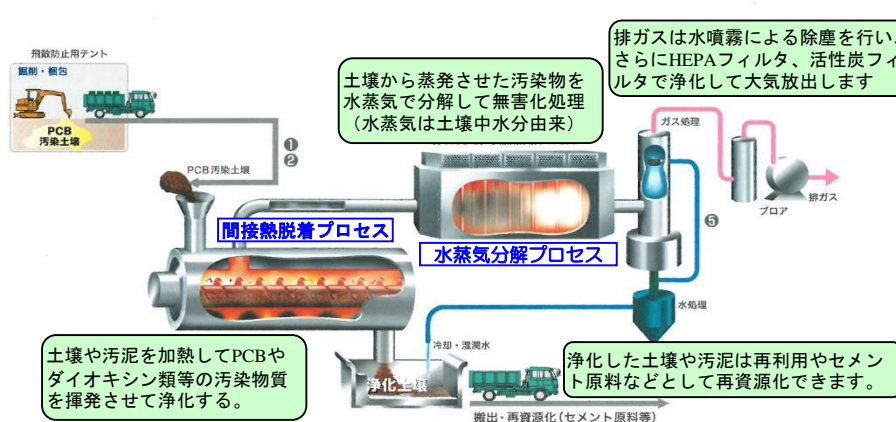


図-1 処理フロー図

ジオスチーム法の原理



ジオスチーム法の処理フロー

